

# 佐久間象山先生生誕二百年記念事業

## 趣意書

『識見高邁高所に立ち寄せ来る波を見おろして開国進取を唱えたる象山佐久間大先生。』と謳われ、維新の大業を肩に負って日本開化の指針を示された佐久間象山先生は、文化八年（一八一一年）二月十一日松代の浦町（現松代有楽町）で父佐久間一学、母まんのもとに誕生しました。数えて平成二十三年（二〇二一年）は、生誕二百年の記念すべき巡りの年となります。

象山先生の遺徳には漢学、蘭学、科学、医学、砲術をはじめとして、多分野にわたって近代日本を目指して先導された数々の功績がありますが、中でもこれ等学問を通して結集された先見の眼力により、幕末の混乱、危機を身を以て指摘し、鎖された我が国を世界の潮流に開眼させ、示唆された偉業は誠に顕著であります。

昭和十三年（一九三八年）十一月三日先生の遺徳を偲び、広く世に顕彰すべく、県民の奉賛をはじめ、国内有識者の協賛も仰ぐ中、象山神社が生誕地松代に県社として造営鎮座されました。

この度生誕二百年を迎えるに当たり、私たちは象山先生の偉業に触れる機会を得、その今日的価値に改めて感動と畏敬を覚えるところであります。

つきましては、郷土の偉人、国の先覚者の象山先生を更に末永く後世に伝えるべく、来る平成二十三年五月に、生誕二百年の記念事業を挙行いたしたく存じます。

記念式典はじめ講演会、各種イベント等を実施し、象山先生の遺徳を偲ぶとともに、松代町および長野市へ大勢の観光客の誘致も図りたいと存じます。

皆様方には本事業へのご理解を賜り、意義のある記念事業となりますようご高配、ご協賛のほどを伏してお願い申し上げます。

### 【記念事業】

- ・ 記念大祭
- ・ 記念講演
- ・ 奉祝奉納
- ・ 記念誌発行
- ・ 青少年人材育成

平成二十一年五月吉日

佐久間象山先生生誕二百年記念大祭実行委員会 会長 安藤喜久雄

佐久間象山先生顕彰会 理事長 荒川修一

象山神社 宮司 滝澤基